

かんもん北九州ファンクラブ



第135号

2019年夏号 [季刊]

発行者：藤城 昌三

〒 337-0006
さいたま市見沼区島町
433-31

TEL：048-685-5773

会報「夏号」の発刊にあたって

かんもん北九州ファンクラブ副代表
梅原英毅



早いもので、編集委員長を交代してもう2号目になりました。
藤城代表から「今号は編集委員長が巻頭言を書け」とご指名があり、ノコノコと出てきました。
前任の編集長は素敵な内容の会報を作成されていましたが、私めはそんな多彩な才能を持ち合わせていません。しかし、真っ先に思ったことは、会員の方々は会報をどのようにご覧になっているだろうということでした。

と言いますのは、かんもん北九州ファンクラブは現在2ヶ月に1回の講演会や年2回の歴史講演会や探索会、暑気払い、新年会などを行っていますので、ほぼ毎月何らかの会合が開かれています。

ところが上記会合の参加者は、新橋の鳳龍クラブで多くても大体30名くらい、北九州市の東京事務所ロビーで行った講演会でも60名くらい、しかも新年会でも90名くらいしかお見えになりません。

会員の総数は600人以上いるのに「参加していただく方が、こりゃまた少ないね」と思います。

ただ、何しろ会員の高齢者が多いのでいろんなご都合もあり、会報のみで過ごしておられる会員様が多いことが判りました。それでは、会報をもっと利用しなければと考え、全員参加型の会報の充実を図りたいと思いました。そこで、まず会報をカラーにしました。

更に、会報を会員の方々の趣味などの発表の場にしたら、読む方は600人以上もいるし、関連業界の配布先を含むと1000人以上も見ますから、恐れ多いですけど皆さんそれぞれが発表と同好者発見に生きがいを見出し、楽しみが増えるのでは、と原稿集めにトライします。

趣味の世界は分野も広く、深さもいろいろですから、先ず俳句、短歌、川柳などは毎回掲載し、奥が深い大作は連載にするなど工夫をこらし、連載小説を書かれてもかまいませんし、カラーになりましたので、ご自慢の絵画なども飾ることが出来ます。

ぜひぜひ原稿をお願いいたします。もし書くのがご面倒でしたら編集委員にお声掛けいただければ、すぐに取材におうかがいし、文章を作って添削していただきます。

また、「かんもん北九州ファンクラブ」は専任の担当会員が提供するすてきなホームページがあります。アップトゥーデイトなニュースはぜひホームページをご訪問ください。

URLは簡単です。<http://kan-kita.com> です。

北九州ツアー 交流懇親会のご案内

実行委員長 田中 悟

ふるさとを訪ね、世界遺産宗像大社を参拝し、夕方に井筒屋で交流会を行い、翌日は安川ロボット未来館を見学、午後は若松響灘のエコタウンセンターを見学した後、バスで解説つきで次世代エネルギーパークを回り、洋上風力発電等を見学します。東京からの参加者と、地元北九州からの参加者を募集いたします。

1 日程 10月6日(日)、7日(月)

7:10 東京組集合 羽田空港 SFJ 出発ロビー (第一旅客ターミナル、2F 南ウイング)
SFJ73 便 7:40 発 - 9:20 北九州空港着

①貸切ツアーバス利用

9:00 小倉駅北口出発 9:40 北九州空港着(東京組合流) 9:50 出発
11:20 宗像大社参拝 神宝館見学
12:40 神湊 玄海旅館で海鮮丼昼食 14:00 出発 道の駅で休憩など
16:30 小倉駅北口着 全員下車 交流会参加者は徒歩で井筒屋へ(15分)
宿泊者は北口西2分のJR九州ホテル小倉にチェックインして、井筒屋へ

②交流懇親会

17:00 役員は井筒屋 8F レストランで会場準備、受付準備 17:30 井筒屋本館 8F レストラン受付開始
18:00 交流懇親会 北橋市長、利島会頭はじめ下関市、北九州市関係者のご臨席を依頼しています。
君原健二様も参加されます。(50名程度想定) 20:30 終了

③貸切ツアーバス利用

8:35 小倉駅北口出発 9:15 黒崎駅北口 安川ロボット未来館着 9:30 - 11:10 見学
11:25 バス出発 車中で弁当昼食(若戸大橋経由で若松へ)
12:45 - 13:00 響灘軍艦堤防 下車見学
13:15 北九州市エコタウンセンター着 13:30 - 14:00 見学
14:10 - 15:00 バイオマス発電所 洋上風力発電所等を解説つきでバスで見学
16:00 (若戸トンネル経由)小倉駅北口着 地元参加者下車
16:50 北九州空港着 SFJ88 便 17:45 発 - 19:25 羽田空港着

2 費用

	地元参加者	東京参加者
10/6(日)	①バスツアー 7,000円 ②交流懇親会 5,000円	①バスツアー 7,000円 ②交流懇親会 5,000円 ④JR九州ホテル小倉 5,000円(朝食付き)
10/7(月)	③バスツアー 5,000円	③バスツアー 5,000円

* 航空券については、5日分も含め、基本各自でインターネット等で手配してください。

田中依頼分については 6月9日現在往復 30,000円程度の見通しで、申し込み確定後にお知らせいたします。(旅行代理店に頼むと1枚毎に1,080円の手数料がかかります。)

3 申込期限

7月10日まで 会報誌送付表紙裏の連絡 FAX 用紙をご利用ください。

旅行の詳細については別途参加申し込み者にお知らせいたします。

お問い合わせは 田中 悟 Tel、Fax 03-3309-4368 携帯 090-9233-7876

E-mail sa10rutanaka@yahoo.co.jp

かんもん北九州ファンクラブの「暑気払い」へ!

恒例の暑気払いを今年は原宿「水交会(ピーターハウス・地図あり)」で開催します。例年、暑気払いは鳳龍クラブにて開催でしたが、新橋駅ビルのオフィス街の一室のため、歌や演奏を自粛していました。今夏は存分に歌など披露できます。皆さまのご参加をお待ちしております。



日時: 8月9日(金) 18時~

場所:(公)水交会(ピーターハウス)渋谷区神宮前1丁目3-5(東郷神社隣)

会費: 5千円(歓迎!お酒、焼酎、ワインなど持ち込み大歓迎です)

アクセス: JR山手線「原宿駅」竹下口より徒歩5分

東京メトロ(千代田線・副都心線)「明治神宮前駅」5番出口より徒歩5分

準備の都合上、申し込みは7月31日(水)までです。

申し込み・お問い合わせは

広瀬 知也 e-mail: hinoyama-tengu@ezweb.ne.jp

藤城 昌三 e-mail: s-fuji3@shirt.ocn.ne.jp

TEL/FAX: 048 - 685 - 5773

ピーターハウスへの案内図

第 33 回史蹟散策会のご案内

歴史を楽しむ会 世話人代表 井崎淳一郎

第 33 回史蹟散策会を下記要領で開催します。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

- 1 テーマ：セイコーミュージアムで「時と時計」の歴史と文化を学習し、東武博物館で「鉄道とバス」に親しみましょう
- 2 日時：9月28日(土) 13:00 東武スカイツリーライン・東向島駅集合
- 3 訪問場所：セイコーミュージアムと東武博物館
- 4 参加費：東武博物館の入館料 200 円
- 5 申込み期限：9月20日(金)
- 6 申込み・問合せ：メール (e-mail:kankitafc@gmail.com) 又は会報表紙裏の連絡票でお願いします。

なお、散策会終了後、東向島駅近辺で希望者による懇親会を行います。
(会費 3,500 円を予定) 申込み時に懇親会につきましても出欠をご連絡願います。

第 42 回歴史講演会のご案内

歴史を楽しむ会 世話人代表 井崎淳一郎

下記要領にて歴史講演会を開催しますので、奮って参加をお願いします。

- 1 演題：ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」と新発見「サルバトール・ムンディ」の謎
北斎、広重に続く第3弾の講演となります。
2017年11月15日、ニューヨークのオークションで史上最高額の510億円で落札された「サルバトール・ムンディ」がいかにして、ダ・ヴィンチ作と鑑定されたのか? 「モナ・リザ」をはじめとするダ・ヴィンチの真作と比較しながら、その経緯と謎を検証する。
- 2 講師：斎藤陽一氏 (美術ジャーナリスト、嘉悦大学客員教授、美術史学会会員)
- 3 日時：令和元年10月23日(水) 18:00 ~ 20:00
- 4 場所：九州工大鳳龍クラブ 港区新橋2-20-15
新橋駅前ビル1号館5階 (03-3572-2009)
- 5 参加費：2,000 円
- 6 申込み：10月16日(水) までに、メール (kankitafc@gmail.com) 又は FAX: 03-5539-3819 でお願いします。

なお、講演会終了後、希望者での懇親会を予定しています。(会費 3000 円) 申込み時に懇親会の出欠につきましてもご連絡願います。

9月講演会のご案内

担当 三浦正壽

日時：9月17日(火) 18:00 ~ 20:00 終了後懇親会

会場：新橋駅前ビル1号館5F「鳳龍クラブ」

講師：長谷川 瑞穂

元東洋学園大学教授

ニューヨーク州立大学言語学科修士課程修了

東京外国語大学 博士後期課程修了 学術博士 (73 歳時に学位取得)

演題：「少数民族の言語保持と教育」

カナダの先住民イヌイットについてヌナブト準州都イカルイトでの調査などに基づく研究を中心に歴史、言語、文化などについての講演

会費：講演会 1,000 円、講演会終了後の懇親会に出席の方は別途 4,000 円

申し込み、問い合わせ先は、

E-mail: kankitafc@gmail.com

FAX: 03-5539-3819 又は、会報送付時の宛先裏面の申し込み票をご利用ください。

◇高校物語◇「戸畑高校物語」 3

会員 (18 回生) 藤吉隆憲

第 3 章 校歌・応援歌の制定について

新制高校になっても、かなりの期間、旧制中学校歌を一部改めて(「戸中健児」→「戸高健児」)使用していたが、「神州茲に幾千年敬愛の花…久遠に薫る忠孝の…♪」との歌詞であり、女生徒には私たちの校歌という実感の伴わぬ空々しい文句、新時代の校歌としてはそぐわずで、新しい校歌作成委員会がスタートした。その時の状況を「創立五十年史」より以下に抜粋してみる。

「そこで指名を受けた私たち校歌選定委員は凝議の結果、郷土出身の作家の火野さんに歌詞を委嘱することになりました。幸い御快諾を得たのみならず、作曲は古関裕而君に頼んでやるからとのことで大喜びしました。このことが十月初めの『天籟新聞』に『日本一の校歌生まるる日近し、作詞・火野葦平、作曲・古関裕而』と大見出しで発表され、全校をわき立たせ、せつかに完成を待望させたのである。

ところが校歌というものはなかなかむつかしい。火野さんに言わせると、『小説だとたとえ愚作でも非難は私一人が受ければいいんだけど、校歌はそうはいかぬ。生徒の心の琴線にふれ、それが末永く愛唱されねばならぬ。母校の校歌は一生忘れられないもので、その良否がその人の一生に影響を与える』ものだから、安易には出来ません。火野さんは正式には二度学校をおたずね下され、沿革、校訓、校風、環境を調べられ、生徒の各種の活動をも見られ、われわれの注文をも聞かれました。火野さんの在京中は電報を打ったり、速達したり、在京の卒業生を煩わして連日催促の電話をかけて貰ったり、若松に帰られたのを聞くと、私と重住先生とはしばしば参上しました。参上しても滅多に会えぬので難儀しました。……中略……

火野さんは返答のつと、『戸高の校歌はむつかしくてへこたれています。何分よみこむ山も川もありません。金比羅山では入れられんし。しかしもうしばらく待って下さい。』と、いかにも相すまんという面持ちでした。本年七・八月の世界ペン大会出発前必ず届けるというのが出来ず、ロンドンから詫状が来ました。よほどお氣にかかっている様子でした。かくて九月十四日、当日火野さんは東京へ発たれているので、出発前の忙しい折に幾晩も徹夜して完成されたにちががありません。重住先生が出勤の途中立寄られて受取り学校に来られた時、歌詞を一読するとともに私の胸にこみあげたのは感動でした。原稿用紙一枚の歌詞だが、これには弓の画一枚に三年間の苦勞をした応挙の苦しみ秘められているという感動でした。歌詞も美しければ格調も高く、本校の教育目標も表現されている。

運動部の活躍も目覚ましく、応援歌の必要性を痛感し、昭和 32 年 6 月 18 日、「潮風かおる大玄海」で始まる戸畑高等学校応援歌が制定された。校歌と同じく火野葦平作詞、古関裕而作曲である。

私は、もう 10 年程前になるだろうか、福島市の古関裕而記念館を訪問した際、記帳ノートに「古関裕而先生にお作り戴いた日本一の校歌・応援歌のお陰で、我が福岡県立戸畑高等学校は、春の甲子園に四度、夏の甲子園に四度、出場することが出来ました。感謝!」と書きつけて来た。



18 回生修学旅行



応援団

第 4 章 野球部の活躍について

全国中等野球学校優勝野球大会の開幕（大正 4 年）から約 30 年経て、また開校より 10 年後の昭和 21 年、本校野球部は創部された。

この戸高野球部の草創期は小倉中学（高校）が 2 年連続全国制覇をするなど、県下で圧倒的な強さを誇っていたところで、他校の目標は当然甲子園出場だが、それは即「打倒小倉」であった。その中で、小倉を倒し、その宿願を果たして、新進・戸畑を一気に名門校の仲間入りに導いたのが、熱血の指導者・直村鉄雄監督で、練習後の選手への訓戒は、「こんなことで小倉に勝てるかっ!」でしめくられた。昭和 27 年の着任以来、次の様な比類のない戦績が刻み込まれたのは高校野球への並はずれた情熱と執念、厳しい練習の成果であった。

在任七年余の間に甲子園出場 3 回（夏 2 回・うちベスト 4 進出 1 回、春 1 回）、九州大会出場 6 回（うち 2 回優勝）、また、どの大会でも常に優勝を争う強豪チームに育てあげた手腕は、必ずしも恵まれた環境とはいえない中で達成されたものだけに、すばらしい。直村監督の不慮の死（第 41 回全国選手権大会出場（1 回戦日大二高対戦中、直村監督倒れ逝去）は、それだけに衝撃は大きかったが、その意志は立派に引きつがれ、3 年連続県代表（夏の甲子園）の金字塔として、燦然と輝いている。

その後、夏の甲子園出場はなく、春の甲子園（選抜）に三度出場したが、何れも 1 回戦で敗退している。

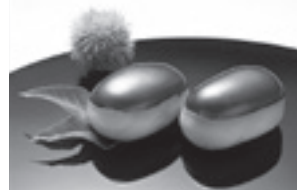
- 昭和 52 年…第 49 回選抜高等学校野球大会（18 年ぶり 2 回目）
- 平成 12 年…第 72 回選抜高等学校野球大会（23 年ぶり 3 回目）
- 平成 17 年…第 77 回選抜高等学校野球大会（5 年ぶり 4 回目）

私が、初めて母校の応援で甲子園を訪れたのは、第 77 回選抜大会の開会式直後の第一試合、駒大苫小牧高戦であった。現ヤンキースで活躍している田中将大投手が、新 2 年生として登板した。母校も善戦したものの、1 対 2 の僅差で敗退したが、あの阿久悠作詞、谷村新司作曲の名曲、選抜高校野球大会歌「今ありて…（ああ 甲子園 緑の山並み たなびける雲は…♪）」の、正に、選抜の雰囲気を多くの同窓生とともに十分に満喫した。

高校 3 年生の時は、往年の強さはなかったものの、夏季県予選で、1 回戦、2 回戦、3 回戦と勝ち進み、県大会出場を掛けた試合で、屈指の左腕安田猛投手（早稲田大→大昭和製紙→ヤクルト）を擁する優勝候補筆頭の小倉高校と対戦したものの、残念ながら 0 対 3 の完封負けを喫した。その小倉高校も伏兵三池工業に敗退した。その三池工業が初出場を果たして、しかも大方の予想（どうせ 1 回戦で敗退だろう）を翻し、未だ 2 年生・上田卓三投手（南海）の連投に継ぐ連投で勝ち上がり、決勝戦では剛腕木樽正明投手（ロッテ）を擁する銚子商業に競り勝ち、なんと春・夏初出場で初優勝との偉業、戦後すぐの 2 年連続優勝の小倉高校に次いで 17 年ぶりに深紅の大優勝旗を福岡県にもたらした。8 月 25 日朝、小倉駅から始まったパレードは福岡、久留米を経て 150 キロ、夕方になってやっと大牟田に帰り着き、祝賀会場周辺・沿道には市民・近隣地区からの方も加わり 30 万人が待ち受け、労働争議や粉塵災害（450 余名死亡）で沈滞のどん底にあったヤマの街に一気に活力と明るさが蘇ったと、記憶している。

協賛
広告

こも菓子司 湖月堂



本店 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町 1-3-1 1
TEL 093-521-0753
本社 〒802-8691 福岡県北九州市小倉北区赤坂海岸 3 番 2 号
TEL 093-541-0961
フリーダイヤル 0120-47-0961
Fax 093-541-3756

栗饅頭の湖月堂
菓子業一筋、松本清張にも愛されて今日に至っています。日露戦争勝利を愛でた勝ち栗からの命名された由緒ある「栗饅頭」を御茶受けに、ご購入にご利用下さい。
HPアドレス <http://www.kogetsudo.com>

第5章 同窓会活動について

本校の同窓会組織「天籟(てんらい) 同窓会」は、北九州の本部同窓会、福岡支部、関西支部、関東支部とあり、それぞれ年1回、総会&懇親会を開催している。本部同窓会はお盆の時期に「リーガロイヤル小倉」を会場に、40才前年代が順次当番幹事となり盛大に行われている。

私は関東在住時に関東支部幹事長として6年間お世話をさせて戴いた。関東支部の特徴は、総会前に卒業生の方に基調講演をして戴いていることだ。6回生、宗雪雅幸氏(元富士フイルム社長)の「日米経済戦争について(ライバル会社コダックから不当に訴えられた米国スーパー301条の制裁回避)」に始まり、日本を代表するバーテンダーとして各種マスコミにも長年数多く取り上げられ、銀座で著名な「毛利バー」を営んでいる18回生、毛利隆雄氏の「カクテル一筋の人生」。認知症予防の第1人者として全国を飛び回り社会貢献している18回生、高槻絹子氏の「脳機能からみた認知症予防」。21回生、平山秀幸氏(映画監督)の「映画街道三十余年」。34回生、葉月けめこ氏(脚本家、北九州市文化大使)の「北九州の逆襲」。8回生、青木勇二郎氏による「神さんの足になった男たち(郷土の誇り戸畑祇園大山笠のユネスコ文化遺産登録記念)」、北九州から上京して戴いた「東大山笠連中の打ち込み(お囃子)」と続いている。

只、私が幹事長の時に、17回生、津曲義光氏(防衛大学校→第27代航空幕僚長)に、お願いしたが、政治的な問題もありで、実現には至らなかったのは残念であった。その津曲氏も7~8年ほど前にお亡くなりになり、築城でのご葬儀に参列した。航空自衛隊の弔砲と、ご遺体は築城基地を一周して弔われた。なお、本校には中学第1期生、山田良市氏(海軍兵学校→海軍→第15代航空幕僚長)がおられ、その様な関係からか、航空自衛隊の関係者による「戸航会」と言う同窓会組織もある。

又、待望の同窓会館が母校敷地内に平成30年1月28日に完成した。瀟洒な80平方メートル平屋建てで、総工費3千万円は、同窓会員のご寄付によるものである。(以下次号)



戸畑高校会館写真



戸畑高校物語 - 全景

協賛
広告

創立大正3年 老舗の味



<http://www.unijin.com>

元 今 祖 株式会社
うに基本舗

〒750-0001

山口県下関市幸町6-8

☎ 0120-22-0169



会員寄稿 第一回飛幡会

代表 藤城昌三



かんもん北九州ファンクラブ（以下 KKFC）の古い※会員名簿を見ると小倉高校出身が圧倒的に多いことが判るのだが KKFC の生い立ちからして納得である。

では小学校の出身校別ではどうか、データは無く私の最目目からで申し訳ないが戸畑市立・沢見小学校が断トツではないだろうか。昭和 29 年の小学校卒組は新制高校では昭和 35 年卒・12 期生となり現在は 77～78 歳の世代である。私は沢見小 29 年卒組で沢見小同期が KKFC には 12 名が居る。それも 6 年 3 組と 4 組である。各々のクラス会は過去に何回か北九州で、東京で開催していたが、この度、KKFC 会員の肝いりで合同かつ最後のクラス会を開催しようとの話が持ち上がった。沢見の他、中原などの参加があり、「沢見会」ではおさまらなく、また最後のクラス会など縁起でもないで「第一回飛幡会」と万葉集から引き継がれている戸畑の由緒ある地名を冠にした。4 月下旬、小倉城を一望できる西小倉駅近くのホテルを会場とした。関東からの参加は勿論のことであるが、関西から大分からと遠来の参加は地元の女性幹事の奮闘の賜だ。60 年振りの再会もアツと言う間に小学生・中学生時代に戻って話が弾んだが一番の盛り上がりは全員のスピーチであった。幹事の配慮で 18 名全員が顔を合わす大テーブルを囲んでの話は真面目な近況報告や中学卒業の総代を M 君の将来を考えて譲ったとの T 君の爆笑秘話？など何でもありの二時間だった。全員の話をご披露したいのだが今回は私の旧悪が暴露された話を述べることにした。



沢見小学校の3年生・後列向かって右から3人目と11人目

H 嬢の最初のスピーチは数年前に亡くなった面倒見の良い男子クラスメイトを初めから終わりまで称えて終わりだった。司会の私は思わず「今、生きている自分の話を何でも良いからやってくれ」と、強談判でスピーチを催促した。

H 嬢はおもむろに話し出した。

「沢見小に転校して来たが毎日が辛かった。F 君にいじめられ学校に行くのが嫌になっていった。ある日、下校の時にこのまま家に帰るから、翌日に学校へ行くはめになると、自宅へ戻らずに沢見からトボトボと歩き続けた。周りが薄暗くなって、見知らぬオジサンに交番へ連れて行かれた。場所は日明だった。」と。

私は思わず立ち上がって深々と詫びの礼を彼女にした。家出少女にもし間違いがあったら、私は今、この場所に立ては居られなかったはず。彼女の人生を狂わせると共に自分もその報いを当然に受けていたはず。小学校 3 年の時に他県から転校してきた H 嬢はクラスの腕白大将で成績もトップ？だった私をたちまち追い抜いてクラスのトップとなっていたのであった。チビで可愛い少女に負けて悔しくて「イジメ」をやったのではなかったと幼心に記憶している。



2019年の飛幡会

「好きだったから許して欲しい」といじめっ子は平謝りに謝った。許して貰えたかは第二回飛幡会の来年まで待たされることに、それ位の罰は当然だろう。

※「会員名簿」は 3～4 年前まで、2 年に一回の名簿発行を企画していたが個人情報保護の観点から現在は発行しないことになっております。ご了承下さい。



昭和25年八幡製鐵小沢見社宅前

第 41 回歴史講演会 演題：「ペリー来航と日米和親条約（1854 年）」

～近代日本の幕開けとなるペリー来航と日米和親条約について、日本史と世界史の双方から光を当てる～

講師 三溪園園長、横浜市立大学名誉教授・元学長 加藤祐三氏 レポーター 井崎淳一郎

4月12日(金)、九州工大鳳龍クラブにおいて午後6時20分に講演を開始、途中10分の休憩を挟んで午後8時5分に講演を終了した。

講師紹介は三浦正壽さんで、講師とはテニス仲間。この講演が開催できたのは、三浦正壽さんの尽力によります。

講演テーマに引き寄せられた興味津々の歴史愛好者36名が集いました。教科書やマスメディアで伝わっていない、臨場感溢れる事実を知って、聴講者は大変満足されたことと思います。

下記5つの内、4. と5. は、時間が足りなくなったので、解説はありませんでした。講演の復習は、参考文献として紹介された自著『幕末外交と開国』（2012年 講談社学術文庫）、『ペリー提督日本遠征記 上下』（角川ソフィア文庫）及び講演者のブログ：<http://katoyuzo.blog.fc2.com/> の関連項目、同リンク「岡倉天心『日本の覚醒』を読む」を読んで頂くほか、【配布資料】に記載したFM戸塚の番組を聴講して頂きたいと思います。

1. 時代背景－東漸する英国、米国西海岸、太平洋の捕鯨船、百万都市江戸
2. 幕府の対外政策とペリーの開国要求
3. 横浜村の首脳会談－林大学頭 vs ペリー提督の対話。使用言語、通訳
4. 日米和親条約の内容とその意義
5. ペリーの見た日本

参加者は次の36名の方々でした。

浅川秀樹 浅川国子 足立二雄 阿部一久 有田秀明 有田益二郎 池田紘子 井崎淳一郎 一林宏齊 岩瀬緑朗
内田青虹 梅原英毅 宇留野輝男 岡村勝義 辛島保馬 岸野任宏 木村昭子 小西孝蔵 佐藤泰洋 澤原道康
篠原政美 高村正義 田中悟 田中光也 中野栄二 成瀬正 西山忠壬 原成義 藤城昌三 三浦康壽 三浦正壽
宮崎明 基真由美 元春康市 山口喜代子 山口義夫

なお、三浦正壽さんは、講師の出迎えやプロジェクターによるプレゼンを行われました。また、受付を担当された池田紘子さんに深謝いたします。



講師 加藤祐三氏

協賛
広告

学校法人
専修学校

北九州予備校

北予備東京 東京都中央区日本橋小網町 18-3
03-6206-2511

理事長 金澤 孝児
(戸畑高校 28 回生)

当校の生徒が令和最初の年に目標大学に
全員合格することを祈念し、一層の学習に
励むようにスタッフ一同も臨んでおります。



紹介者 三浦正壽氏



レポーター 井崎淳一郎氏

以下、印象に残った解説について付記します。

1. 時代背景—東漸する英国、米国西海岸、太平洋の捕鯨船、百万都市江戸
 - ・日本と世界の 1770 年代から 1860 年までの歴史的事件の内、1842.8.28 の天保薪水令は 1806 年の文化令を覆して外交方針を転換したことを指摘された。戦争しないで条約締結できたのは、鉄砲と刀を捨てたからである。
 - ・1942.8.29 の英清南京条約が敗戦条約であったのに対して、1854.3.31 の日米和親条約、1958.7.29 の日米修好通商条約は双務性を盛り込んだ条約である。
 - ・ペリー提督の旗艦航路図では、英国 P & O 社（蒸気郵船会社）とペリーの航路を紹介された。1852.11.24 に米国東海岸ノーフォークを出港し 7 ヶ月半かけて江戸湾に到着した。
 2. 幕府の対外政策とペリーの開国要求
 - ・1854 年の再来日に対しては、臨戦態勢、応接所を巡る交渉、横浜村への招待等、様々な対応が行われた。
 - ・日本諸島沿海において座礁・破損等のため避泊する合衆国船舶乗員の生命・財産の保護、合衆国船舶の薪水・食料の補給、海難時の航海継続に必要な修理のため、日本国内の一港、または数港に入る許可を得ること。
 - ・合衆国船舶が積み荷を売却、交換するために、日本国内の一港、または数港に入る許可を得ること。
 3. 横浜村の首脳会談—林大学頭 vs ペリー提督の対話。使用言語、通訳
 - ・アメリカ応接係筆頭の林大学頭とは林羅山から数えて第 11 代の林復齋で、昌平饗（昌平坂学問所）の塾頭を兼ねていた。
 - ・日米双方の記録では日本側には林メモ（墨夷応接録）、米国には公的報告（米国議会文書）がある。
 - ・日米和親条約は 12 カ条から成っている。使用言語は、日本語文、漢語文、英語文とオランダ語文の 4 種類。オランダ語通訳を介して交渉した。
 - ・ペリーの横浜上陸図、ペリーの顔絵等関係絵図の紹介がありました。
- 注：神奈川県立歴史博物館（横浜市中区南仲通 5-60 みなとみらい線馬車通駅）にその一部が展示されています。



受講者

【配布資料】

- ・「ペリー来航と日米和親条約」（A4 サイズの 2 枚を A3 サイズの 1 枚にまとめた）
- ・出演された番組の紹介
- (1) 3 月 25 日放送された FM 戸塚の番組
FM 戸塚のホームページ (<http://www.fm-totsuka.com/>) を次の順番でクリックすると、いつでも何回でも聴くことができます。
(番組一覧・聞き逃し番組) → 番組名 (シビックプライドダイアログ) → (番組アーカイブはこちら) → (第 24 回シビック……) を選択する。

《シビックプライド・ダイアログ＝余話》

第 24 回は、日本とアジアの近代史が専門の歴史学者・加藤祐三先生（元横浜市立大学学長）をお迎えして、「今年は横浜開港 160 周年の節目の年、都市横浜はどのように誕生したのか」をテーマに、横浜開港に至るは秘話や、「和親条約」と「修好通商条約」は不平等だという、旧来の説を“虚構”と見抜いた研究の成果など、実に明快で興味深いお話の数々を伺いました。

(2) NHK 総合番組「歴史秘話ヒストリア」にも出演されます

5 月 22 日(水) 22:30 ~ 23:20

5 月 28 日(火) 再放送 15:08 ~ 15:58

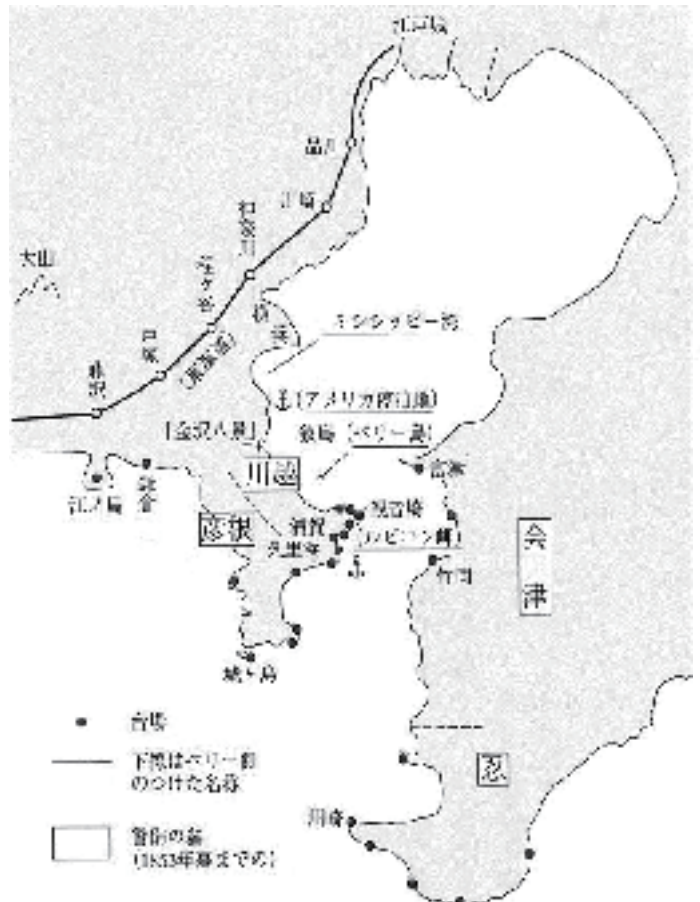
ペリー来航と日米和親条約 かんもん北九州クラブ第 41 回歴史講演会 加藤祐三

- (1) 時代背景 東漸する英国、米国西海岸、太平洋の捕鯨船、百万都市・江戸
- (2) 幕府の対外政策とペリーの開国要求
- (3) 横浜村の首脳会談 林大学守vsペリー提督、使用言語、通訳
- (4) 日米和親条約(1854年)の内容とその意義
- (5) ペリーの見た日本

<http://katoyuzo.blog.fc2.com/>

本文のうち「我が歴史研究の歩み」(これまで37回)
 リンクのうち「横浜の夜明け」「FM戸塚第24回シビックダイアログ」

日本	世界
1791 寛政寺(寛政御尋)	1793 英がインドを植民地化、アヘン生産を開始
92 ロシア使節ラズスマン来航	78 アメリカ合衆国独立(独立)
97 寛政の改革	81 フランス革命
1805 文政令(寛政令の改訂)	1799-1815 ナポレオン戦争 この頃、十九世紀アジア三角貿易が形成
98 芝罘フェートン号 番船導入	1800 英がシンガポールを植民地
25 文政令(異国船参入令打込み)	34 英が中国貿易を自由化
97 モリソン号事件	
99 船社の隆	36 米財閥が外資の手裡のアヘン増産
	40-42 アヘン戦争
22.5.28 大保蔵令(文化令に改訂)	42.8.29 英清南京条約
	43 上海の英租界(租界)の成立
64 オランダ国王の親書くる	44 英清天津条約
65 米軍インド艦隊のトッドル船来航	46-48 米墨戦争(メキシコ戦争)
69 米軍インド艦隊のグリーン、船隻数面に長崎来航	
53.7.5-7.16 ペリー船長の第一来航	50-64 太平天国
54.7 ペリー 艦隊の第二来航	53-56 英露のクリミア戦争
5.21 日米和親条約締結	
5.17 下田追加条約締結	56-60 第二次アヘン戦争
55 ハリスが下田に滞在	57.5 中法天津条約
	58.6.26 英清天津条約
58.7.29 日米修好通商条約締結(のち蘭、露、米、仏とも)	
59.7.1 横浜開港	60 北京条約(第二次アヘン戦争締結)
60 黒船通商条約(通商条約の批准書)	



ペリー来航時の江戸湾防備

主な参考文献: 加藤祐三『幕末外交と開国』2012年 講談社学術文庫、M・C・ペリー、宮崎壽子監訳『ペリー提督日本遠征記 上下』2014年 角川ソフィア文庫

協賛広告

ペプトレックス®
PeptoLex®

■ Advantage ■

- ・アスリートに必要な成分が豊富
- ・体の中から美しくなりたい方に最適
- ・体の衰えが気になる方にピッタリ
- ・世界ドーピングテスト合格・自衛隊で採用



- ・天然ペプチドだからすぐに吸収
- ・中性脂肪を燃やし、スリムな体づくり
- ・水に良く溶け美味しい

今なら、会員価格
 1箱 ¥3,300
 2箱以上 送料無料

IFC アイエフシー株式会社 〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町8-8-105 URL: <http://www.ifcc.co.jp> E-mail: umecadia@ifcc.co.jp
 代表取締役 梅原英毅 お求めは「ライフサイエンス部」または Amazonで「ペプトレックス」と検索しお求め下さい

KKFC 歴史ロマンを語る会

白木大五郎氏の特別講演 演題：「白木家と西郷隆盛」記 小林寛重



今回は KKFC 歴史ロマンを語る会会長の貝島資邦氏の出身高校、福岡市の修猷館高校の先輩、白木大五郎氏に特別講演をお願いし快諾いただきました。白木氏のご先祖は代々博多で醤油商を営んでいましたが、幕末安政の大獄時に西郷隆盛の逃亡を匿ったという秘話があるとのこと。大いに興味深い話です。以下は白木氏の講演主旨です。

福岡天神昭和通りから親不孝通りを北へ、1 本目の路地を左に曲がると「西郷南洲翁隠家跡」と彫られた石碑がある。そこが白木氏祖先の営んだ醤油商「福萬醤油」の蔵跡地で、西郷隆盛はここでしばらく隠れ住んだのである。安政 5 年（1858 年）、西郷隆盛は幕府から目を付けられた尊王攘夷派の僧月照の保護をすべく二人で薩摩への逃避行をした。当時の福岡藩には勤王党がいて、白木氏祖先の「太七」も勤王党の思想に参じた商人であった。

西郷と月照と一緒に匿うのは世間の目もあり大いに危険。そこで月照は目明し（今でいう交番）で匿い、西郷は大きいので福萬醤油の土蔵で匿った。二人の滞在は数日であった。

そのときの話を聞いた白木氏の曾祖母によれば、「蔵に背が大きくて目玉がどんぐりみたいな人がかくまわれていて、時々呼ばれては、鼻紙買ってきてくれとか小遣いを渡された。」そうだ。

しかしながら、西郷と月照が去った後が大変であった。二人を追う幕府の目から見れば犯罪者逃亡に手を貸したことになる。太七もまた幕府から追われる身となった。太七は福萬醤油から逃亡し、明治元年に長崎で斬殺された。享年 33 歳。白木家では家から罪人を出したことを恥とし、葬式も出さず福岡の安国寺にひっそりと埋葬した。

太七は真面目な商人であったが、幕末黒船来航など世の中が大きく変わる時代に、若さもあり国のために何かしたいという思いが西郷をかくまう行為になって表れたと思う。白木氏が先祖の太七のことを話せるようになったのは 3、4 年くらい前で、それまでは一切言えなかった。こうして話すことで先祖供養になるのかなと思う。

今日、白木氏は日立製作所退職後に企業リスク研究所を興しコンサルティング事業を行う一方で、白木家と西郷隆盛との縁を大切に思い、西郷隆盛の業績や、人間西郷隆盛の魅力・遺訓を改めて調べて世に広めることをライフワークにしています。講演会の後半はその一端をいろいろと披露されました。なかでも白木氏が好きな西郷遺訓は、

- 命もいらぬ、名もいらぬ、官位いらぬ、金もいらぬという人は始末に困るものだ。然し、始末に困るような人でなければ、困難を共にして、国家の大きな仕事を成し遂げることは出来ない。然しながら、このような人は一般の人の目では見抜くことが出来ない。
- 一日、山や谷で狩りをし、風呂に入って心身爽快な気分こそ、将に君子の心境だ。

なお福萬醤油は、現在も白木さんの親戚によって西郷の隠れ蔵から約 50m のところで店を構えています。店では厳選された九州の醤油が販売されています。

切手・ハガキ・毛糸をご寄付ください

特活 NGO アフリカ友の会の代表 徳永瑞子

ご寄付いただいたものは、内戦下にいるアフリカの栄養失調児、重症児、エイズ患者等への人道支援に使います。

集めているもの

・未使用切手・ハガキ・書き損じハガキ

送り先 〒115-0053 東京都北区赤羽台 4-17-18-1102 特活 NGO アフリカ友の会
TEL: 03-3909-7114 FAX: 03-3908-0200

・不要になった毛糸

毛糸の送り先 〒056-0018 北海道日高郡新ひだか町静内吉野町 2-2-25 静内支援グループ責任者 加地明子宛
TEL: 0146-42-2850



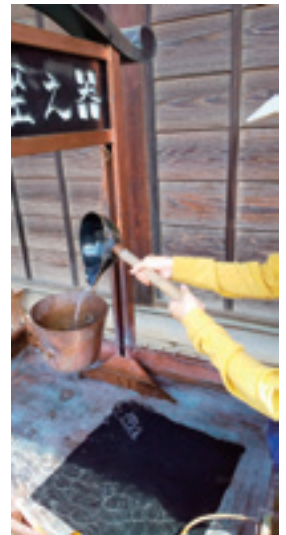
会員寄稿 足利市への家族旅行

副代表 広瀬知也

5月2日から3日にかけて家族で栃木県足利市に旅行した。
 「日本最古」の総合大学と言われる足利学校で令和の出典である万葉集を展示しているのがきっかけだ。(但しパネル展示)
 2日早朝、越谷駅から東武伊勢崎線で久喜駅まで行き、東北本線(宇都宮線)で小山まで下る。途中の古河駅(こがえき)は東北本線唯一の茨城県の駅である。
 徳川家康が関東に封じられた際、古河城主になったのが小笠原秀政で後、松本藩主になった。大阪夏の陣で長男と共に戦死し次男の忠真が小倉藩主となったので、「小倉の殿様が幼少年期にゆかりのあった地」という説明も許されるかもしれない。
 小山駅で両毛線に乗り換えて足利駅まで。
 あしかがフラワーパーク駅まで超満員で閉口した。
 以前に当会の散策会で訪れた栃木や佐野の風景を観ているうちに足利駅に着いた。
 足利学校は足利駅からは徒歩で10分弱程である。
 創建の時期には諸説あるが、平安時代から鎌倉時代にかけてらしい。
 学校のトップには周防(山口県東部)出身者が2人、九州出身もいたというから驚きだ。
 また、教科書でお馴染みのフランシスコ・ザビエルも多大な関心を示していたそうなので、現在、東京に存在する上智大学の設立にも足利学校の存在がある程度影響があったかもしれない。
 足利学校は日本の元号の出典の8割の資料があるらしく、明治・大正・昭和・令和の各元号の展示もあった。
 令和は太宰府での歌会の序文の漢文からである。
 いくら万葉集が 出典といっても漢籍の引用であることは明白であり、日本独自の言葉とは言いがたい。
 足利学校の近くに「ばん阿寺(ばんなじ)」という足利氏の氏寺があり、鎌倉時代は、足利氏の城でもあったので「日本百名城」にも選出されているらしい。
 本堂は最近、国宝に認定された。
 娘の鈴音は「御朱印ガール」なので受付の前に並んでいた。
 足利氏の初代である足利義康は源頼朝の祖父の従兄弟で新田氏の初代とは兄弟である。
 2代目の義兼が頼朝の母方の従兄弟(系図上)だったため源氏の中でも鎌倉幕府からは優遇された。
 系図上という表現は、系図では親子でも実は兄弟や甥や姪、孫等を養子、養女にした例も多い為、実の親子とは限らないという意味である。
 足利氏の8代目が室町幕府初代將軍の尊氏である。
 建武の中興の後、後醍醐天皇に叛いた尊氏が朝廷軍に敗れ、九州に落ち延びた時、熱心に支援したのは、宗像大社だった。
 現在の福岡市東区が戦場になった「多々良浜の戦い」で起死回生の勝利を得た尊氏は下関市長府の忌宮神社で戦勝祈願をした後「湊川の戦い」(神戸市)に勝って室町幕府の創設に至る。
 足利市に宿が取れず、小山で宿泊した。
 関ヶ原の戦いの直前の小山評定跡地の碑を見た。
 この小山評定や小早川秀秋への裏切り工作にて暗躍した黒田長政は福岡藩の初代藩主となった。
 もし、小山評定が失敗していれば現在福岡県や福岡市は存在しなかった。(博多県や博多市が存在したかもしれない)
 翌日は、あしかがフラワーパーク駅で下車して栗田美術館を見学した。
 意外なのは、栗田美術館は伊万里焼のファンの間では世界的に有名らしく、最近話題の映画「ボヘミアン・ラブソディー」の主人公である「フレディ・マーキュリー」も生前訪れたということで、彼のバンド「クイーン」ファンらしき若い人も結構来ていた。
 海外の有名人が認めないと日本文化の良さに気付かないのか、という気もするが外国映画を地元の観光に直結出来る足利市のセンスは見習う点があると思う。
 まとめとして旅行に行っても私は北九州や下関と関連のあることは目につくことである。



栗田美術館前にて



足利学校(水を入れると桶がひっくり返る)



足利尊氏像

クルーズ船撮影記 (第1回・4回連載)

編集委員 有田秀明



プロローグ

今日も朝早くからリュックにカメラ 2 台に交換レンズを数本、今日は船の出港が夕方になるので三脚は絶対に必要だ。それに忘れてならないのがカメラ用のバッテリーと USB メモリーも再確認する。家族からはいそいそと準備をしている様子を見て「また同じクルーズ船の写真を何度も撮りに行く理由が分からない」と言うが、それにはマニアならでしか理解できないものであろう。同じ船名でも何枚撮影しても時間、天候による空の色、雲の形、海の色、波の形、船の撮影アングル等の要素が複雑に絡み合い決して同じ写真は無く、写真の出来具合に一喜一憂の連続である。写真のコンテストへの投稿チャンスやクルーズ船に関するホームページもあり、私は IdyllicOcean というサイトに共感し、写真の投稿を行っているが、船は性格上世界中に存在し国内外の船マニアからの投稿があり、現在 5 位の成績を保持しているが一寸油断していると 7 位まで抜かれることもある。数多く投稿すれば点数は上がるかもしれないが、自分が納得した写真のみを投稿するよう心がけている。

そもそも私が船の写真撮影に夢中になるきっかけは、少年時代から、北九州で育った関係で、洞海湾に出入港する船や、一寸足を延ばして関門海峡を往来する船を見るのも好きであった。幼い時の記憶で洞海湾に何故入港したか理由は不明であるが「あるぜんちな丸」や、下関港で、引き揚げ船で有名な「興安丸」の記憶がある。社会人になり入社したのが重工業で船舶も商品の一つ、それも入社のも動機ではあったが、配属されたのは船舶とは異なったエネルギーやプラントエンジニアリングの部門であった。しかし事務所からは建造中の船が見え、時々進水式でのマーチが聞える環境であった。当時日本は世界一の造船量であり、会社での売り上げ比率も約半数近くでトップであった記憶がある。しかしオイルショックを契機にその後日本の造船業は衰退し、今や造船量も世界一の看板を中国に譲ってしまった。しかも船舶部門は分社化し、他社の船舶部門も同様な運命同士で数社が合併し何とか維持しているのが現状である。しかしながら今日クルーズ船の造船は、ヨーロッパ勢が強く、最近では北欧のフィンランドやノルウェーが頑張っている。日本も再度頑張ってもらいたいものである。職場も造船部門は移転し、しばらく海外勤務が続いたためしばらく船に接するチャンスも無くなっていったが、定年後、重工業での職場を離れ、エンジニアリング会社で働くこととなり、横浜の港の見える職場から時々出入する美しいクルージング船を目にし、再び関心を持つようになり映像を残すきっかけとなった。エンジニアリング会社での勤務は、あるプロジェクトの終了を契機に退職し、その後は横浜港を出入港するクルーズ船を中心に行動しているが、撮影に行くと、カメラや三脚等を抱えた同類のメンバーが自然に集まり、お互い名前は知らなくとも、いつの間にか挨拶をするような仲間もでき今日に至っている。今回のこの投稿を機会に撮影したクルーズ船の数を調べて見たが、ざっと 46 隻、中には「飛鳥II」のように何回も出入港するものもあり、撮影回数は 206 回である。では具体的なクルーズ船の写真撮影の話をするにすることにする。

1. クルーズ船撮影の優先順位

今年は例年に比較し、クルーズ船の出入港も多く、特に 4 月～5 月にかけては連日で、全ての船の出入港を追いかけるのは不可能で数か月前から計画を建てる必要がある。まず優先順位第一は、初入港する船である。中心は横浜港であるが、場合によっては東京の晴海埠頭や、東京湾入口の浦賀水道まで足を延ばすこともある。

第二は昼間の明るい時間帯に出入港する船である。クルーズ船は早朝に到着し、夕方や深夜に出港することが結構多い。早朝は始発電車でなくても船の方が早く入港してしまい、着岸前の入港シーンを狙っても間に合わないケースを多く経験している。また夜間出港の写真は、撮影条件も厳しくなり、撮影が限定されるためである。私は停泊している船よりも航行している船の方が好きなせいもあり、昼間の時間帯に出入する船を優先する。

第三は出入港時又は停泊時のクルーズ船の向きを選択である。

飛行機の乗客の乗降用ボーディングボードは機体左側ドアに設置するように、船は岸壁に接岸する時に右舷側を岸壁に接岸するのが基本であるが、船によっては左舷接岸が、基本の例外の船もある。また同じ船で埠頭が同じでも接岸方向が逆向きに接岸することもある。その理由は詳細には分からないが、写真を撮る時はそのファクターは重要な要素である。

海運局のホームページにて入港埠頭、出入港日時、着岸の方向等の資料が分かるため、これらの資料により撮影の時間を決定する。なお注意しなければならないのは入港時間とは着岸し旅客の下船できる時間であり、実際には約 1 時間前には姿を現しているため、撮影はその前から準備する必要がある。



ランドマークタワーより撮影の大棧橋 B,C 両埠頭右舷接岸時飛鳥IIと Diamond Princess



大黒埠頭のスカイオークから撮影した Costa Neoromantica

7月1日に商業捕鯨が再開します

昨年12月26日、我が国は、国際捕鯨取締条約からの脱退を発表しました。同年9月にブラジル・フロリアノポリスで開催されたIWC（国際捕鯨委員会）での我が国のIWC改革案の否決によって、IWCに加盟した状態では、科学的根拠に基づく鯨類資源の持続的利用ができないという判断に基づくものでした。IWCで決定された商業捕鯨モラトリアムによって、我が国では1988年から商業捕鯨を中断していました。

1900年初めにノルウェー式捕鯨を取り入れ、近代捕鯨として始まった場所が長門・下関地域です。本市は近代捕鯨発祥の地として、捕鯨の伝統や食文化を現在まで継承してきました。商業捕鯨が盛んに行われていた昭和30～40年代には下関漁港に約2万トンもの南氷洋の鯨肉が水揚げされており、冷蔵倉庫業・流通業・加工業・販売業・造船業などの産業が活発であり、本市の基幹産業の1つになっていました。市内には鯨肉が多く流通し、お正月や節分には鯨料理を食べる文化がありました。

商業捕鯨モラトリアムの決定により、商業捕鯨が一時中断となってしまいましたが、南極海や北西太平洋での調査捕鯨により、我が国の捕鯨の伝統や鯨食文化は、困難な状況の中でも受け継がれていきました。本市は、捕鯨の歴史や鯨食文化が根付いていることから、南極海の調査捕鯨の陸揚げ地として誘致活動を継続してきました。現在では、例年3月末頃に捕鯨母船・日新丸が本市に入港し、調査副産物の全量陸揚げを行っています。また、目視採集船である勇新丸、第三勇新丸のメンテナンス等を行う母港にもなっております。

我が国は6月30日に国際捕鯨取締条約から脱退し、翌7月1日から商業捕鯨を再開することになり、母船式捕鯨の基地として位置づけられた本市において、同日、下関港あるかぼーと岸壁から捕鯨母船「日新丸」が出港いたします。

今後、下関が捕鯨母船の基地となるとともに老朽化が進んだ捕鯨母船「日新丸」の代船建造による母港化が図られることで造船業・流通業・加工業等の振興に加え、更なる鯨肉の安定的な陸揚げによる関連産業の振興や新たな産業振興、観光振興につながることを期待しています。



【北九州市 防災アプリ「ハザードン」】 簡単操作で災害情報をいち早く入手!まずはご登録を! 広報室

北九州市では、「平成 30 年 7 月豪雨」によって 2 名の尊い命が犠牲になり、河川の氾濫や崖崩れ等の多くの被害が発生しました。

本市では、自然災害による被害が予想される場合に、危険情報や避難情報などの情報について、メール配信やホームページへの掲載など、様々な情報配信ツールを使用して発信しています。

この度、これらのツールに加えて、土砂災害などの危険情報を、より迅速・簡単に、そして分かりやすく入手することができるプッシュ通知型防災アプリ「ハザードン」がリリースされましたのでご紹介いたします。

このアプリは全国どこからでも北九州市の災害情報をいち早く入手することができるため、北九州市にお住まいのご家族の見守りツールとしても活用することができます。

特徴・機能

【お知らせが欲しい場所を登録】

例えば、ご自身の自宅と勤務地、そして両親が住む実家といった複数の場所を登録することが可能です。

【見守りツールとしての活用】

登録場所を北九州市内にしている場合、登録場所における土砂災害などの危険度が高まれば、プッシュ型通知でお知らせします。

例えば、遠隔地に住むお子様がアプリから情報を入手し、北九州市に住むご両親に直接連絡して避難を促すなどの活用ができます。

【避難所マップの表示】

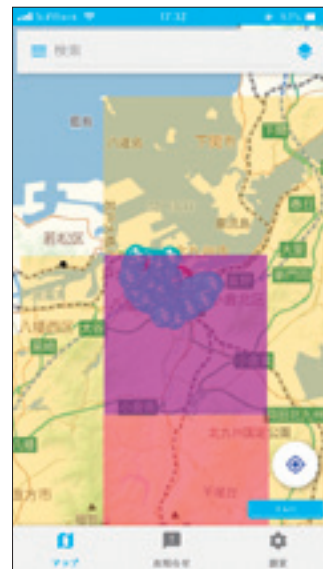
地図上には避難所が表示されており、一目で分かるように開設中の避難所は赤く表示されます。



防災アプリ「ハザードン」



◆避難所が一目で分かります。



◆危険度をお知らせします。



北九州市の夏祭り・花火

- ◆小倉祇園太鼓(小倉北区) 7月19日～7月21日
- ◆若松みなと祭り(若松区) 7月19日～7月21日
- ◆黒崎祇園山笠(八幡西区) 7月19日～7月22日
- ◆くきのうみ花火の祭典(若松区) 7月20日
- ◆戸畑祇園大山笠(戸畑区) 7月26日～7月28日
- ◆平尾台観光まつり(小倉南区) 7月27日
- ◆わっしょい百万夏祭り(小倉北区) 8月2日～8月4日
- ◆関門海峡花火大会(門司区) 8月13日
- ◆八幡南お盆祭り・花火大会(八幡西区) 8月16日
- ◆まつりみなみ(小倉南区) 8月17日



134 号 16 ページの 2018 年入会者紹介から「鬼塚信子」様を削除しました。

編集後記

やっと 135 号が完成しました。

完成には本当に多くの方の力が必要でした。

過去の会報は、ほとんど一人の方が原稿を集めて編集されていました。その方が健康が理由で出来なくなったということで、引き継ぎましたが「これはタダモノではない」と思い知ったところです。

とても一人で出来るものではなく（前任の編集委員長の大鬼諫さん本当にご苦労様でした。）藤城昌三代表、有田秀明さん、三浦正壽さん、出版会社（瞬報社）の吉武祐輝さん、梅原英毅（形だけ編集委員長）の 5 人の「会報編集委員」で原稿集めから始めております。

私が編集委員長に指名されたのは、高校生時代に新聞部をしていたことが発端と思いますが、これは 50 年も前の経験で、技術や環境も違いますが、まあ要領はそんなに変わらないだろうと思って頑張っています。

よろしく願いいたします。



冷や麦（表紙ともに写真提供・有田秀明氏）

目次

P1	会報「夏号」の発刊にあたって	P13	クルーズ船撮影記（第 1 回）
P2	北九州ツアー交流懇親会のご案内 暑気払い交流会のお知らせ	P14	会員寄稿 ウーロンゴン市訪問記
P3	第 33 回史蹟散策会のご案内 第 42 回歴史講演会のご案内 9 月講演会のご案内	P15	北九州市 防災アプリ「ハザードン」
P4	「戸畑高校物語」3	P16	訂正文 / 編集後記 / 目次
P7	会員寄稿 第 1 回飛幡会に参加して	協賛広告（ア～オ順）	
P8	第 41 回歴史講演会	アイエフシー株式会社	P10
P11	白木大五郎氏の特別講演	うに基本舗	P 6
P12	会員寄稿 - 足利市への家族旅行 -	北九州予備校	P 8
		株式会社ギラヴァンツ北九州	P16
		湖月堂	P 7
		特活 NGO アフリカ友の会	P11

協賛
広告



Giravanz
KITAKYUSHU

CHANGE
For Kitakyushu
～この北九州のために～

ギラヴァンツ北九州 代表取締役社長 玉井行人
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-1-26 あべりあ浅野ビル

本年度の諸情報の詳細については、
ギラヴァンツ北九州HP をご参照下さい。
<http://www.giravanz.jp/>